



＼やりました／

主な実績

＼できました／

府民の皆様から寄せられる様々なご意見、ご要望などをもとに実現させてきた政策のうち、主なものを紹介します。

- 大阪府手話言語条例を制定。乳幼児手話教室「こめっこ」開設。乳幼児期から手話に親しめる環境を整備。
- 大阪重粒子線センターが開院。小児がん患者が経済的な理由で治療を断念することがないように、センターでの治療に関する助成制度を創設(2019年度開始予定)。
- 都市計画道路「泉州山手線」の未着手区間の事業化へ、都市計画の変更に尽力。区間を定めて順次、事業が実施。
- ちきりアイランドへの企業誘致と携帯電話の電波が届きにくい地域の解消を実現。
- 渋滞緩和へJR東岸和田駅の立体高架化を実現。大型ホテルの誘致など。
- 地域の安全活動を応援するため地域防犯活動の拠点である「地域安全センター」を全小学校区(約980箇所)に設置。
- 2019年にG20サミット首脳会議の大阪開催を実現。
- 2025年万国博覧会を大阪誘致へ全力。国連がめざす「SDGs(持続可能な開発目標)の達成」を万博ビジョンに提案。
- 「小児救急電話相談(#8000)」の体制を拡充、20~23時の人員を倍増。相談件数が拡充前 비해、年間21,000件増加。



かきみ大志朗プロフィール ●2007年大阪府議会議員初当選以来3期連続当選 ●1956年6月鹿児島県生れ ●国土交通省・海上保安庁に30年勤務。一等海上保安正で退職 ●環境農林水産委員会委員長・都市住宅委員会副委員長・府港湾審議会委員・府議団政務調査会長等歴任現府議団副幹事長 ●家族：子供2人は自立し、妻と二人暮らし ●座右の銘：さあ仕事を続けよう(アーノルド・トインビー)

① 最先端のがん治療拠点を大阪に

2017年3月「大阪国際がんセンター」(大阪市中央区)が開院。最新鋭の放射線治療装置を3台設置するほか、患者の就労支援相談窓口や脱毛といった外見の悩みに対応するサロンもあります。

また、この3月には隣接地に「大阪重粒子線センター」が開院、10月から治療がスタートしました。放射線の一種、重粒子線を病巣部に集中的に照射することで、正常な細胞を傷つける副作用が少ない治療が受けられます。外科手術が難しい体の奥にあるがんや、すい臓がんなど難治性のがんにも効果が期待されています。

② 動物の殺処分をゼロへ

「大阪府動物愛護管理センター」(羽曳野市)が2017年8月に開所しました。動物の殺処分ゼロに向け、犬や猫の引き取り数削減や譲渡を進めるとともに、動物愛護に関する意識の啓発を図ります。

同センターは保護された犬や猫の飼育体験を通じ、ペットとの暮らし方を考える「施設学習型ゾーン」と、木々に囲まれた広場で動物と触れ合う「自然活用型ゾーン」があります。今後は小学生を対象に動物愛護の出前授業も予定しています。



③ 国際観光都市にふさわしい受け入れ環境を整備

2014年1月から無料でインターネットに接続できる「Osaka Free Wi-Fi」を提供。現在は駅やホテル、商店街、飲食店など府内5000カ所で提供しています。2017年3月には大阪駅に観光案内や旅のトラブルに対応する愛称「おもてなしステーション」を開設。2017年度は年間約32万人の利用がありました。



▲京阪天満橋駅構内のOsaka Free Wi-Fiサイン

④ 中小企業の事業承継を応援

2018年度から3年間を事業承継の集中取り組み期間とし、商工会議所等への補助金を活用した経営指導員による事業承継診断を実施。5月には大阪商工会議所内に総合相談窓口の「事業承継相談デスク」ができました。

⑤ LINEを活用した「いじめ相談」を実現

政令市を除く府内の中学校、高校、支援学校の中学部・高等部の生徒約39万人を対象に2018年度は年間50日実施。



⑥ 結婚に「縁ジョイバス」

府内在住の新婚世帯(結婚後1年以内)と1年以内に結婚を予定している人たち向けに「おおさか結婚縁ジョイバス」が昨年11月にできました。婚姻届の提出時に交付されるほか、スマートフォンやタブレットにバスを取り込んで利用できます。府内の協賛店の利用時にバスを見せると5-10%の代金割引や生活用品がもらえるなどの特典があります。有効期限は2020年3月末です。



⑦ 発達障がい者支援も前進

大阪府の総合就業支援施設「OSAKALしごとフィールド」(大阪市中央区)は精神・発達障がい者の就労支援にも力を入れています。一人一人の特性に合わせたプログラムを用意し、カウンセラーが詳しく相談に応じます。

⑧ 府立高トイレの洋式化

今後3年間で107府立高校のトイレを順次洋式化していきます。各校とも1階から最上階まで垂直方向の縦一列に位置する1系統のトイレを全面改修します。すでに完成した高校では生徒から喜ばれています。



⑨ 「子どもの貧困対策」でオール大阪の体制を構築

「子ども食堂」を開きたい人や運営している人の相談窓口「子ども食堂コンシェルジュ」を開設しました。大学生や教員OBを対象にした学習支援ボランティアを募集し、子ども食堂とマッチングを図ります。



▲子ども食堂コンシェルジュ

⑩ 大阪版「健康マイレージ」を導入へ

特定健診やがん検診の受診、健康づくりイベントへの参加などを通じ、個人に健康づくりポイントを付与、たまったポイント数に応じ電子マネーへの換金など特典がもらえる仕組みです。2019年1月、大阪市、門真市、岬町のモデル実施を皮切りに同10月から府内全市町村で実施する予定です。



2025年大阪万博開催決定!!

公明党大阪府議会議員団の万博誘致への主な取り組み

▶2017年

- 府議会の代表質問で、万博にかける夢や希望を子どもたちに描いてもらう「私の考える万博絵画展」を提案。(3月)
- 松井知事に、2025年日本万国博覧会(大阪万博)誘致実現へ機運醸成の取り組みなどを要請。(7月)
- 大阪府が誘致活動の一環として、全国の小学生に描いてもらった作品を募集・展示する「私の考える万博絵画展」の開催を発表。(7月)
- 熊本県議会議長に万博決議案の採択を依頼。(11月)
- 石井国土交通大臣へ誘致に向けた情報発信強化などを要望。(11月)
- 松井知事に、2018年度の予算編成に関する要望書の中で、BIE調査団受け入れに万全を期すなど大阪万博誘致の強化を要望。(12月)
- 全国の小学生から絵を募集した「私の考える万博絵画展」の表彰式が開催。(12月)



資料提供：経済産業省

▶2018年

- 東京都議会議長、副議長に万博決議案のとりまとめを依頼。(1月)
- 宮崎県議会議長に決議案の採択を依頼。(2月)
- 府議会として万博誘致のための調査団をイタリア(ミラノ市)・サンマリノ共和国へ派遣し、これに代表が参加。後に、知事へ調査内容を報告する中で、誘致活動に積極的に海外へ訪問するよう要請。(5月)